

医療事故調査制度 の現況と問題点

2015年10月に医療事故調査制度が導入され、2021年12月までに2248件の報告が行われている。年間約360件の報告で、導入前の想定数（1300～2000件／年）を大きく下回っている。そこには制度上の問題点も指摘されている。一方、本制度では、事故調査を担当する医療機関の負担も大きく、報告件数が増えない理由の一つであると考えられる。本講演では医療事故調査制度の問題点について概説する（講師談）。

日時

2022年7月28日（木） 19:00～20:30

形式

WEB・会場のハイブリッド開催

【WEB】Zoomウェビナー

【会場】熊本市国際交流会館4F 第3会議室

★申込時に参加形式をお選びください。会場は定員40名（先着順）

対象

医師および医療スタッフ

お申込みはこちらから

7/26（火）17時まで



<http://bit.ly/38Pb7sX>

上のQRコードをスマホ等で読み取って必要事項を入力のうえお申込みください。QRコードからのお申込みができない場合は、お電話でも受付いたします。

講師

熊本大学病院

副病院長/医療安全管理責任者

ちかもと あきら

近本 亮 氏

（略歴）

平成6年 5月 熊本大学附属病院第一外科（研修医）

平成11年4月 熊本大学附属病院第一外科（医員）

平成13年1月 Princess Alexandra Hospital, Brisbane, Australia.

Senior Fellow of Queensland Liver Transplant Services.

平成31年4月 熊本大学病院 医療の質・安全管理部長

令和2年 4月 熊本大学病院 医療の質・安全管理部長（教授）

令和3年 4月 熊本大学病院 副病院長

医療安全管理責任者

主催：一般社団法人熊本県保険医協会

TEL：096-385-3330

Email：kumamoto-hok@doc-net.or.jp

後援：公益社団法人熊本県医師会



LINE公式アカウント
友だち募集中！